



# 学術研究船「白鳳丸」

世界の海を舞台に研究航海

学術研究船「白鳳丸」総トン数3991トン、全長100mの大型研究船です。日本の近海はもちろん、太平洋、インド洋など世界中の海におもむき、調査研究を行っています。振動をおさえたエンジンや雑音の少ないスクリーなど船体のいたるところで、海洋観測を行うのに邪魔にならないよう工夫がされています。これらの、研究をしやすい環境をつくることで、さまざまな海洋研究の分野に対応することができる船になっています。



## さまざまな研究に対応する

「白鳳丸」にはたくさんの観測機器や解析装置が搭載されていて、さまざまな分野の研究が行えるようになっています。クリーンルームや低温実験室など10室の研究室や、海水の成分を分析する解析装置や音響探査装置など海洋観測を行うための設備が整っています。

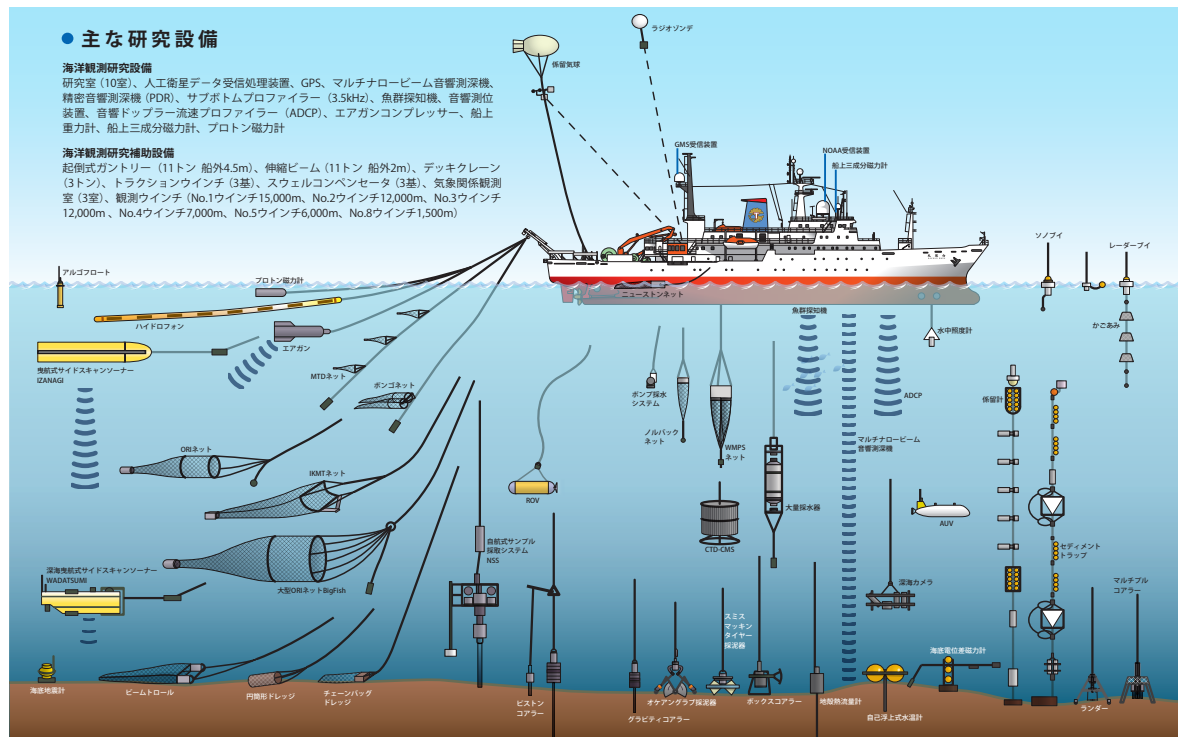
### ● 主な研究設備

#### 海洋観測研究設備

研究室(10室)、人工衛星データ受信処理装置、GPS、マルチナロービーム音響測深機、精密音響測深機(PDR)、サブトムプロファイラー(3.5kHz)、魚群探知機、音響測位装置、音響ドップラー流速プロファイラー(ADCP)、エアガンコンプレッサー、船上重力計、船上三成分磁力計、プロトン磁力計

#### 海洋観測研究補助設備

起倒式カントリー(11トン 船外4.5m)、伸縮ビーム(11トン 船外2m)、デッキクレーン(3トン)、トラクションウインチ(3基)、スウェルコンベンセータ(3基)、気象関係観測室(3室)、観測ウインチ(No.1ウインチ15,000m、No.2ウインチ12,000m、No.3ウインチ12,000m、No.4ウインチ7,000m、No.5ウインチ6,000m、No.8ウインチ1,500m)



主要目	竣工	1989年	喫水	6.3m	定員	89名(乗組員54名/研究者等35名)
	全長	100m	国際総トン数	3,991トン	主推進機関	4サイクルディーゼル機関 1,900ps×4台
	幅	16.2m	航海速力	約16ノット		電気推進モーター 460kw×2台
	深さ	8.9m	航続距離	約12,000マイル	主推進方式	4翼可変ピッチプロペラ(ハイスキュー型×2軸×2航)